

【No. 16】 正 解 1

(本当に手順をすべて書くと面倒なので、最初と最後の結果だけ書きます。実際書き出してみると簡単に解くことができます)

賛成 = ○, 反対 = × で書くと, A ~ E の多数決の結果は全部で 32 通りになる。これをすべて調べればよいのだが, A と B の意見が異なる, という条件を最初に考慮すると 16 通りだけ調べればよいことになる。それは以下の 16 通りである(さらに他の条件も同時に考慮すれば, もっと場合は減りますが, 試験本番ではあまり条件を頭で考慮するよりは, こうして書き出してしまった方が速いしミスもないでしょう)。

A	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
B	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
C	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×
D	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×
E	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×

あとは上から順番に(上からでなくともよいが), 条件にあわないものを消去していけばよい。結果, 次の 6 通りが残る。

A	○	○	○	×	×	×
B	×	×	×	○	○	○
C	○	○	×	○	○	○
D	○	○	○	○	○	×
E	○	×	○	○	×	×

これを選択肢と照らし合わせればよい。

名所に名前がついていませんし, 「異なる」とか「同じ」という条件ばかりで, 一見手のつけようのない問題です。ただ, 所詮判断推理は, 限られた場合の中から条件を絞り込んでいるだけだ, と思っていけば, 全数調査に気づくことができるでしょう(実際, 僕は書き並べるまでにほとんど時間をかけていません。推論が少しでも止まるなら, いつでも全数調査 or 場合分けをする覚悟でいるのです)。

16 通り書くのは大変, と思うかもしれませんが, これはパターン化されていますので, 準備してあれば(そして準備可能です) あっという間です。上の 16 通りが規則正しく並んでいることに注意してください。頭より手間をかけよ, という公務員試験判断推理で差のつくタイプの王道問題です。是非これを確実にとれるようにしたいですね。